

藤島地域のまちづくりを語る

令和4年度第2回藤島地域振興懇談会（会長・今野良和・藤島町内会長連絡協議会会長）が11月24日、藤島庁舎3階大会議室で開かれました。

藤島庁舎の事業や、まちづくりについて意見交換され、その一部を紹介します。

「長沼・八栄島地区のデマンド交通の経費と効果は？」
「補助金は令和3年度で300万円弱。6月からスタートして10ヶ月間で利用者数は600人程度だった。東栄地区は約1700人なので、早くそのレベルに到達したい。」
「3方向に各週1回なので、利用促進を図るためには便数を増やせばいい。鶴岡市街地は庄内交通が市内循環の便数を増やしたら利

用者数が数倍に増えたという。財政効果がなからと便数を減らせば、ますます利用者数が減少する。」

「産業建設課の事業では農業は多数あるが、商業が1項目もなく、置き去りにされているのではないか。」

「藤島歴史公園イルミネーションHisu花でのイベントや、庄農うどんなど、商業が活躍できる場をつくりたい。イルミネーションは5年目であり、経済効果を数値で確認できるようにしたい。」

「渡前の体育館の改築は、市長選挙で出たが、事業計画には一切出てこない。やる気があるのか。」
「体育館の修繕は、未来事業を使って行っ

ていく。議会では、補助事業を引く張つてきて建替えを検討していたが、進んでいないのが実態だ。関係課と調整して進めていきたい。」

「懇談会で出された要望・意見に、どう対策をとったのか、次回は報告いただきたい。」
成田讓支所長は、「次回報告できるように進めていく。ただ、3人の課長が3月で退職で私1人となり、不安な面もあるが」と述べましたが、（株）ウエノ社長の上野氏から「そんな弱気を言っていないで！」と活を入れられ、「今年も元気に冬の藤島が始まり、さらに実のあるものにしていく」と、強く決意を語りました。



Hisu花イルミネーション（庄内観光サイトから）

村の四季

鈴木重雄（八色木）

ドジョウ（泥鰌）捕り
梅雨時の終わる頃は大雨が何回か繰り返す。田んぼは灌水、排水を頻繁に行うので大量の水を使う。

水路に雑草が延びて水の流れが悪くなるので、日取りを決めて水路掃除を一齐に行う。

田面に張った水を排水する時に、竹で編んだ一升瓶の形をしたドジョウ胴を排水口に据える。ビンの底の方から入り、首の部分からドジョウを取り出す仕組みになっている。

小学校も高学年になると、ドジョウを獲る胴つけをした。夕食を終えると胴を3、4個持って、水の張った田んぼの排水口を払って胴をつける。田んぼの排水と共に、ドジョウが胴の中に入っていく仕掛けになっている。

早朝子どもたちが胴を上げに行く。上げる時ゴドゴドと音がする手応えが楽しかった。ただ夜間も溜め水をしてい田んぼには、取り付けしないように気を使っていた。

ドジョウは、梅雨明けの暑さに負けない体力をつける栄養源であった。

ホタル（蛍）
八栄島地区は因幡堰の末流で、藤島下町のはずれで新堰と昼流し、松嶺街道沿いに流れ、シンゼン稲荷の所で豊栄地区と八色木地区に分かれていた。

八色木村の入口の皇大神社の前で、荒落堰西野堰と分かれ、村の中を流れていた。

この水路は田んぼの用水はもちろん、野菜や農具を洗ったりする生活に欠かせない水路である。

水路沿いの屋敷の河戸に露天風呂を沸かす家もあった。

私の家は屋敷の前に水路があり、河戸があるので、露天風呂の条件に合っていた。

亜炭（石炭より純度が低い）の匂いが漂う。外部から見えないようヨシ簀で囲い、夜空を眺めながらの入浴は気持ち良かった。近所の人たちも、もらい風呂に来ていた。

子どもたちは風呂の中あがり堰に腹這いし、足をばたつかせて水浴し、また風呂に入った。

浴衣に着替え、夕食を済ませるとホタル狩りに出る。6尺位の葉のついたニガ竹を持って追いかける。田んぼの水路にホタルが乱舞している。籠に入れたホタルを家の中の蚊帳に放し、電気を消して床の中で楽しんだ。

今は村でホタルを見ることがなくなった。エサになるカワナ（図）が水路に棲まなくなったからである。



（図）カワナが水路に棲まなくなったからである。

「つるおかペイ」消費喚起の効果どうか

9月から始まった消費喚起事業のプレミアム付商品券「つるおかペイ」は、11月20日に販売予定数の上限に達しました。

キャンセル扱い分の約6000セットが28日以降、追加募集されました。

実績値は11月20日現在、アプリ版が12万8000セット(77%)、紙版が3万8626セット(23%)です。

一次募集は24%

一次募集はアプリ版を合わせ、発行可能24万セットのうち、5万

6625セット(24%)の実績でした。

紙版が68%を占めていましたが、当初予定9万6000セットの4割にとどまりました。

市外の利用者11%

二次募集(アプリ版)は10月7日から、市民以外にも対象を広げ開始しました。

一次募集では一人2セットまででしたが、販売不振を踏まえ、アプリ版のみ11月4日から、一人10セットまで上限を拡大しました。

購入者数は述べ5万8113人ですが、実人数は3万8129人となっています。

市外の利用者数は実人数で2134人で、アプリ版の実人数1万8697人の11・4%を占めています。

50代の利用が最多

利用者は、女性が約

66%、男性が約34%、

年代別では、50代が最も多く約28%、次いで40代が約23%、60代が約21%、70代が約8%で、40代以降が全体の8割を占めています。

利用店舗は、スーパーや飲食料品店などが62・4%、宿泊業・飲食サービス業17・8%、美容・美容・クリーニング・娯楽業などが47%です(アプリ版)。

アプリ版のシステムトラブルで、11月13日と24日の2回、利用できなくなる問題が発生しました。

三川町の全町民1人当たり9000円のクーポンの配布と比べ、「つるおかペイ」の消費喚起効果が問われます。

鶴岡市プレミアム付商品券「つるおかペイ」の販売状況

11月20日現在の申込状況

	一次 市民限定			二次 市外含む	合計
	紙版	電子版	計	電子版	
購入者数(人)	19,432	9,329	28,761	29,352	58,113
販売数(セット)	38,626	17,999	56,625	110,001	166,626
発行額(千円)	193,130	89,995	283,125	550,005	833,130

ひと

村山俊太郎・ひで夫妻

青山 崇

獄中で「生きる」に迷う

この調査を完成する2ヶ月前の心境はどうだったのか。

俊太郎が獄中の心境を語り始めるのは、前記した手紙よりほぼ2カ月前、また検挙のほぼ2カ月後の4月2日の手紙からである。2日の手紙は、省略もあるが次のようである。

「お手紙拝見、宏も実家へ喜んでいっている由、安心いたしましたし

た。(略) 親たちの気持ちを考えるとつらい気持ちです。私はもう一切をあきらめて、新しい出発のみを考えています。将来のことを考えてみると、不安な訓導生活を清算するにいい機会であったかも知れませんが。子どもたちの将来もあるし、私は今、新しい希望だけが頭のなかに去来しています。(略) 今まで残っていた古い思想のアカをすっぱりぬいで、明るい光のなかへ、虫たちの

ように飛んでいきたい。そして虫たちの生活のように、のびのびと仕事が出来たい。とこんなロマンチックな気持ちでいます。(以下略)

しかし、俊太郎の戦後をみると、日本共産党に入党し、教職員組合を結成し、副委員長として活躍し始めたことなどから考えると、彼の言う古い思想のアカは、日本共産党や労働組合運動などではないことは確かである。

単純で、虫たちのような生活は…、獄から早く出て伸び伸びした



マスコミに期待

いつもの事だが、分からない事が出てくるんだ。それは、旧統一教会の事が救済法の話になったら報道されなくなつた事だ。第一、

信者に犠牲者が出て救済法が必要だというのが、宗教といえるんですか? これまで何度か反社会的だと報道されてきたでしょ。質問調査の文章で苦勞されているとの報道だが、既に宗教の認可取り消しに十分な程悪い実績があるんだからサ。

▲疑問は、日本が外国の宗教に左右されていったのではないかとの疑惑が追求されなくなつた事なんだ。国権の3権の長の内、2権の長が深く関わっていたことが分かったんだ。つまり、首相と衆院の議長だ。その他大勢の国会議員と地方議員まで国民に見えないとこ

いことではないだろうか。

俊太郎は、戦時体制に合わせざるをえないのが見えてくる。

1940年(昭和15年)7月10日のひで宛の俊太郎手紙に「こんなこと(子どもたちのこと)を考えると一時も早く帰りたい気持ちになります。また考えますと幾百万の人々が家を離れ、しかも身を捧げての戦の庭戦地を思うと、あまりにも浅ましい自分を取りもどすのです」。

ろで、そんな宗教を元気づけ、伸ばさせ、選挙で票を纏めて貰っていたんだ。こんな国ってあるの? マスコミにはその追及を続ける責任があると思ってるんだが、皆さんはどう思いますか。

▲今一つが、選挙の収支報告書だ。首相が出した物に94枚も不備があったと調べたらもつと出てきたとか。それも、宛名のない領収書に但し書きも無いんだってサ。早い話、まだ出来ていない物を受理したんだ。しかし、亡くなった人の報告もあつたりでは、どんなものでも受け付けている事に。受付が見つけて訂正させればニュースにならないものを。

▲優秀な職員の内、政治家への付度なんだかネ。政治資金規正法はザル法と言われながら、ザル法にしていったのは担当の受付だったんか。(石川)